

牛群検定ビッグデータ（その14） ～ボディコンディションスコア（BCS）～

牛群検定のビッグデータから分かる色々なことを本コーナーで紹介していきます。今回は、ボディコンディションスコア^{*}（BCS）についてです。

産次別に見ると、初産が、乳期を通じたBCSの変動が最も少なく、安定していました（図1）。また、乾乳期間中に過肥（3.5以上）となった牛は乳期を通じたBCSの変動が大きいことが分かりました（図2）。

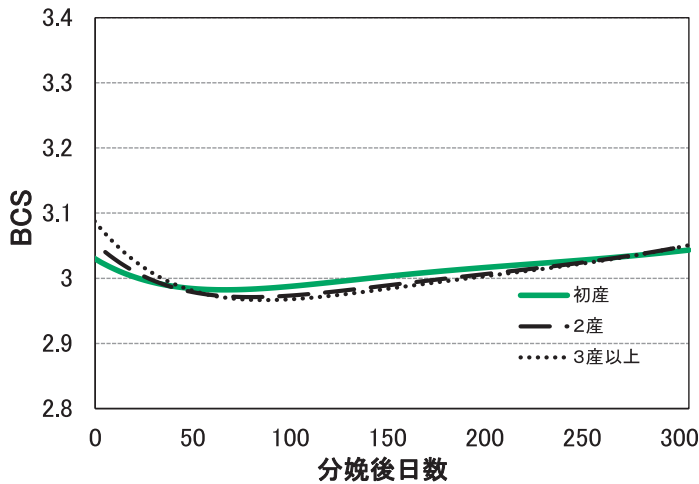
乾乳期の過肥は、周産期病の原因となることが知られています。また、泌乳中後期からリバウンドすることが多く、同じ事を繰り返しがちです。

次産の周産期病予防、良好な泌乳成績、健康状態、繁殖成績のために、過肥にならないように注意しましょう。

※牛群検定における簡易ボディコンディションスコア 2：削瘦 3：普通 4：過肥

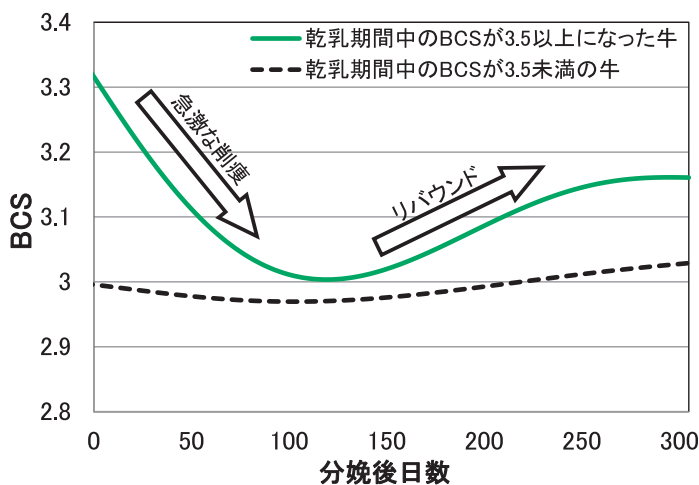
解説記事 <http://liaj.lin.gr.jp/japanese/kentei/lms/liaj14009.pdf>

写真 <http://liaj.lin.gr.jp/japanese/kentei/BCScomp2.pdf>



	分娩時	最小値	最小値になるまでに要した日数	件数
初産	3.03	2.98	(66)	265,363
2産	3.05	2.97	(80)	224,636
3産以上	3.08	2.97	(87)	363,282

図1 産次別ボディコンディションスコアの推移（回帰）



	分娩時	最小値	最小値になるまでに要した日数	件数
乾乳期間中のBCSが3.5以上になった牛	3.31	3.00	(119)	143,081
乾乳期間中のBCSが3.5未満の牛	3.00	2.97	(103)	773,680

図2 乾乳期のボディコンディションスコア別での推移（回帰）